



建設常任委員会資料 (令和 8 年1月16日)

令和 8 年度当初予算要求額に関する調

※本資料は予算要求の途中段階
で作成したものであり、その取
扱にはご注意願います。

企業庁

Contents

2

I 企業庁の経営

- 1 企業庁事業実施地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 令和8年度企業庁重要施策体系表・・・・・・・・・・ 6
- 3 企業庁の経営戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

II 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

- 1 播磨科学公園都市・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2 潮芦屋・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 3 神戸三田国際公園都市（カルチャータウン・フラワータウン） 14
- 4 淡路津名地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 5 ひょうご情報公園都市第2期・・・・・・・・・・ 20

III 安全・安心な水道・工水の安定的供給

- 1 水道用水供給事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- 2 工業用水道事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

IV 地域活力を創造する取組

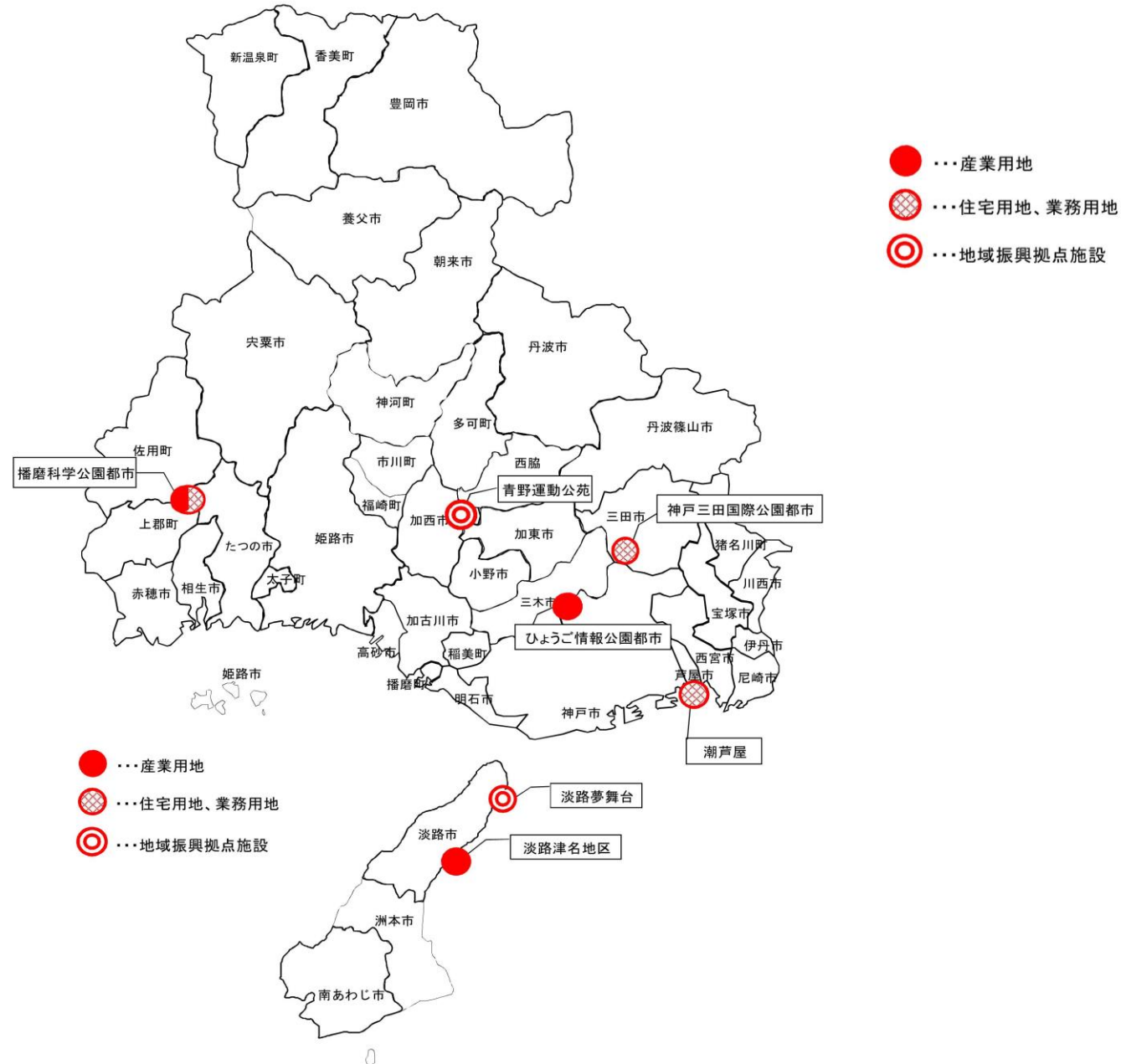
- 1 淡路夢舞台・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 2 青野運動公苑・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 3 再生可能エネルギーへの取組・・・・・・・・・・ 29

V 令和8年度当初予算要求額・・・・・・・・・・ 32

企業庁の経営

1 企業庁事業実施地域

(1) 地域整備事業等位置図



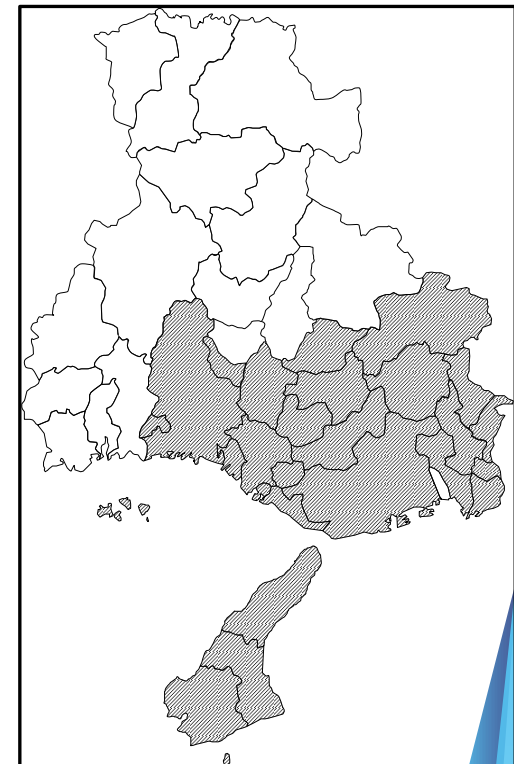
企業庁の経営

1 企業庁事業実施地域

(2) 企業庁水道用水供給事業計画図



【給水対象市町】



給水市町 (25市町)

企業庁の経営

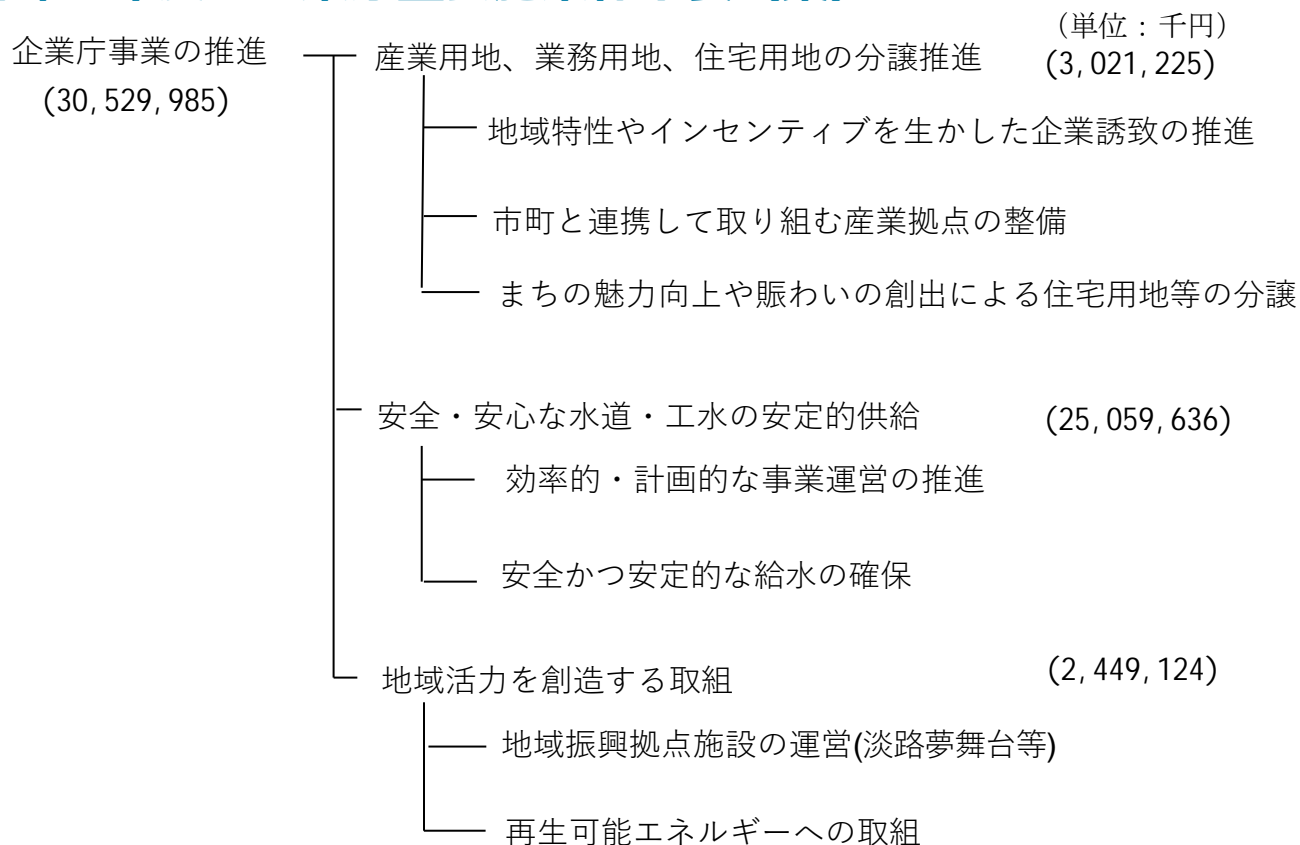
1 企業庁事業実施地域

(3) 企業庁工業用水道事業供給区域概要図



I 企業庁の経営

2 令和8年度 企業庁重要施策体系表（案）



兵庫県企業庁SDGs宣言（2020年1月）
兵庫県企業庁は施策を通じてSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献するとともに、地域の振興と県民福祉の向上を図ります。

水道・工業用水供給やまちづくり、メガソーラー発電等を推進する企業庁が、率先して、SDGsの達成に貢献することを宣言



I 企業庁の経営

3 企業庁の経営戦略

(1) 経営改革の推進

県政改革調査特別委員会での審議等を踏まえ、兵庫県企業庁経営戦略（～令和15年度）を令和6年度に改定。同戦略に基づき、経営環境の変化に応じた経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。

① 経営状況の評価・検証

事業ごとに策定する投資・財政計画や評価指標等に基づき、中長期的な視点も含め、経営状況の評価・検証を行う。

② 経営情報の透明性向上

資産評価の適正化や財務情報の適切な提供など情報の透明性の向上を図る。

(2) 地域整備事業のあり方

① これまでの経緯

- 令和5年9月の県政改革審議会からの指摘、県の方針を踏まえ、企業庁経営評価委員会において、地域整備事業の将来的な収支見通しや課題等について評価・検証を行うとともに、今後の事業のあり方について検討
- 令和6年3月、委員より知事に「地域整備事業のあり方検討についての報告書」手交
- 企業庁経営評価委員会に取りまとめられた「地域整備事業のあり方検討についての報告書」を踏まえ、県政改革調査特別委員会等で議論
- 令和7年3月、新たな県政改革方針として議決。会計の抜本的見直し（令和20年度を目途に会計収束を目指す）、個別事業の展開方策の検討、企業債償還財源の確保について基本的な方向性を決定

② 令和7年度からの取組

- ア 会計の抜本的見直し
- イ 個別事業の展開方策の検討
 - ・ 淡路夢舞台の創造的再生に向けた今後のあり方及び運営体制の検討
 - ・ 播磨科学公園都市のあり方検討協議会における新たな方向性・課題等の検討
- ウ 企業債償還財源の確保
 - ・ 進捗調整地の活用・処分
 - ・ 保有資産の整理

II 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

1 播磨科学公園都市

【分譲状況】

(R7.11月末時点)

(1) 産業用地・業務用地の分譲推進 (現況図参照)

① 地域特性を生かした企業誘致活動の展開

(主な地域特性)

ア 世界的な先端科学技術基盤(SPring-8、SACLA等)の集積

イ 立地企業の研究開発・人材育成等をサポートする産学公連携(JASRI、兵庫県立大学等)

ウ 地盤が強固であること等防災面における安全性の高さ

エ 中国道と山陽道双方へのアクセスが可能(播磨道が双方に接続)

オ 高速通信ネットワーク基盤(ひょうご情報ハイウェイ)の無償利用が可能

② インセンティブの活用

SPring-8等先端科学技術基盤が集積する播磨科学公園都市の特性や企業ニーズに応じた企業誘致を図るため、各種インセンティブ制度の活用を通じて分譲を推進

③ 民間活力等の積極的活用

産業立地支援のワンストップ窓口である「ひょうご・神戸投資サポートセンター」や「企業誘致サポーター」(立地情報を有する法人を登録し、情報の提供を受け、立地決定時に報酬を支給)との連携により分譲を推進

用 途	分 譲 計 画 (ha)	分 譲 の 状 況	
		累 計 (ha)	分 譲 済 率
産 業	83	83	100%
業 務	126	101	80%
住 宅	28	19	68%
合 計	237	203	86%

【企業庁独自のインセンティブ】

地区別	区分	制 度 名	内 容
共 通	割引	地域創生割引	県外から本社機能を移転する企業等に土地分譲価格を20%割引
	補助	地質等調査費助成	立地検討企業等のボーリング調査費用を助成 [最大500万円]
播磨科学 公園都市	割引	研究開発型企业立地促進割引	SPring-8等を活用する研究開発型企业等に土地分譲価格を20%割引(割引併用は10%)
	補助	立地企業研究開発支援助成	SPring-8等の機器使用料の1/2を助成 [最大1,000万円、立地後10年間]

【分譲状況】

区分	令和 7 年度	令和 8 年度
産業用地	残り 1 区画について、令和 7 年11月に契約締結	—
業務用地	4 区画分譲中	2 区画追加分譲予定

II 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

1 播磨科学公園都市

(2) 住宅用地の分譲推進（現況図参照）

住宅メーカーや地元工務店との共同分譲を行うとともに、インセンティブとして、播磨科学公園都市内の事業所勤務者を対象とした購入支援制度を令和7年度に創設したほか、若年世代向けの購入支援、太陽光発電システム整備助成などにより宅地分譲を推進

このほか、県立西はりま天文台の協力による天体観望会の開催、西播磨フロンティア祭での住宅PRブース出展、インターネットのリスティング広告、居住者によるSNSを通じたまちの魅力発信などにより、引き続き分譲を促進

【企業庁独自のインセンティブ】

制 度 名	内 容	助成上限額等
多世代近住支援 ※他制度との併用不可	ア親族（3親等内）が同時期に2区画を購入 イ1～5期の現居住者の親族（3親等内）が購入	分譲価格を半額
職住近接支援【新】 ※「テレワーク応援住宅購入支援」を廃止、他制度との併用不可	契約者又は同居家族が播磨科学公園都市内の事業所に在職	分譲価格から400万円割引
若年・子育て世帯新居購入支援【拡】 ※他制度との併用不可（若年・子育て世帯新居購入奨励金除く）	ア結婚後10年以内 イ婚約中で土地所有権移転日までに結婚予定 ウ大学等卒業まで※の子を扶養 ※「中学校入学前」から拡充	分譲価格から400万円割引
若年・子育て世帯新居購入奨励金【拡】 ※他制度との併用不可（若年・子育て世帯新居購入支援除く）	ア結婚後10年以内又は中学校卒業まで※の子を扶養 ※「中学校入学前」から拡充 イ婚約中で土地所有権移転日までに結婚予定	150万円 (居住開始時100万円、 出産時50万円)
太陽光発電システム整備助成 ※「ガーデニング」等整備助成又は安全で快適な家づくり助成との併用可	太陽光発電システムの整備工事費用助成	150万円
ガーデニング等整備助成【新】 ※他制度との併用不可（太陽光発電システム整備助成除く）	ガーデニング、菜園、鳥獣被害防止施設の整備費用助成	100万円
安全で快適な家づくり助成 ※他制度との併用不可（太陽光発電システム整備助成除く）	フラット35Sの技術基準適合住宅（ZEH住宅含む） 又は県産木材の使用基準を満たす住宅等の建築費用助成	100万円

【分譲状況】 令和7年度 1区画分譲、残り8区画分譲中

たつの市
Matsubara City

播磨科学公園都市
光都21 建築条件付宅地分譲

支援・助成制度
※11(1)(2)棟まで、※2200㎡以下まで

(1) 若年・子育て世帯支援……分譲価格から400万円割引
※11(1)(2)棟まで、※2200㎡以下まで

(2) 職住近接支援……分譲価格から400万円割引

その他、多くの制度をご用意しております。
詳細は下記よりお問い合わせください。

お問い合わせ先
兵庫県企業庁企業誘致課 公式HP「コート21」
☎ 078-362-9390 <https://www.kobe21.jp>

販売価格 950.4万円～1,423.3万円 宅地面積 211.67㎡～400.61㎡

ここでしか描けない、暮らしの物語。

【県民だよりひょうご（令和7年9月号）】



【天体観望会（令和7年10月5日）】

II 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

1 播磨科学公園都市

(3) 魅力あるまちづくり

令和7年度の取組に引き続き、令和8年度もまちのにぎわいを創出

① 都市のにぎわいの創出

・てくてくマーケット

都市のPRや担い手育成、にぎわいづくりを進めるため、地域団体等と連携し、地元農家で採れた新鮮野菜やハンドメイドの定期市、キッチンカーによる出店、フリマ、子ども向けの企画を実施

【参考】

○ 西播磨フロンティア祭

都市のにぎわい創出のため、SPRING-8施設見学ツアーをはじめ、次世代技術の展示・体験、万博・フィールドパビリオン、地域の情報発信や交流促進企画、「創造的復興」理念の共有・継承の企画を実施

【令和7年度開催実績】

開催日：令和7年10月25日(土)

来場者：約16,000人

○ 光都夏祭り

光都のよさを伝えふるさとを盛り上げようと、地元住民や県立大学生をはじめ多くの人が協力して、盆踊りや手持ち花火大会、屋台など多彩な催しを開催

【令和7年度開催実績】

開催日：令和7年8月30日(土)

来場者：約1,500人

② バスターミナルの活用促進

都市中心部の芝生広場に、バスターミナルを整備（令和3年4月供用開始）し、JR各駅に連絡する路線バスやコミバス等が乗り入れ

隣接したコミュニティスペース（令和3年11月供用開始）等において既存イベントとの連携や、地元市町の観光PR等によりにぎわいを創出

(4) 新たな産業用地の確保（現況図参照）

播磨科学公園都市第2工区内の枇杷ノ谷は、平成21年台風第9号災害復旧事業及び播磨自動車道の建設残土などを受け入れて造成を行っている。今後、約5haの土地が創出される見込みであり、当該地の活用等を検討



【てくてくマーケット】



【西播磨フロンティア祭】



【光都夏祭り】

Ⅱ 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

1 播磨科学公園都市

<TOPICS> 播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会

平成9年のまちびらきから25年以上が経過し、SPRING-8の高度化等の新たな展開を迎えるなか、都市の現状や地域整備事業会計の経営状況等も踏まえつつ、持続可能な都市運営に向けて、令和6年度に立ち上げた「播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会」において、新たな都市のあり方を検討

【今後のスケジュール】

R7年度	R8年度	R9年度
年間2回程度の開催 ・未来志向のまちづくり（新たな方向性を検討） ・持続可能な都市運営（課題への対応、取組を検討）		持続可能な都市運営に向けた基本的な方向性をとりまとめ

【令和7年度開催実績】

開催種別	開催日
マネジメント会議	5/26、6/30、8/4、10/3、11/21
地域意見交換会	10/17、10/19
西播磨フロンティア祭 （意見聴取）	10/25
第3回協議会	12/24



【第3回協議会】

ひょうご環境体験館

【今後の取組】

（令和7年度）

- ・3つの作業部会（まちづくり、都市フレーム、イノベーション）の設置
- ・都市内の未利用地等の利活用方策を検討するため、サウンディング型市場調査を実施 等

（令和8年度）

- ・各作業部会での検討作業を継続
- ・サウンディング型市場調査結果を踏まえ、都市フレームの基本的な考え方を協議 等

【地域向け資料(抜粋)】



【地域意見交換会】

II 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

2 潮芦屋

(1) 生活利便施設用地の分譲推進

事業用定期借地権設定契約の期間満了（R7.9月）を迎えた北部業務用地（B区画 約277㎡）について、一般競争入札により事業者を決定

【令和7年度取組】

- ・ A区画：所有権移転済
- ・ B区画：入札公告中

【分譲状況】

（R7.11月末時点）

用 途	分 譲 計 画 (ha)	分 譲 の 状 況	
		累 計 (ha)	分 譲 済 率
住 宅	32	32	100%
業 務	60	60	100%
合 計	92	92	100%

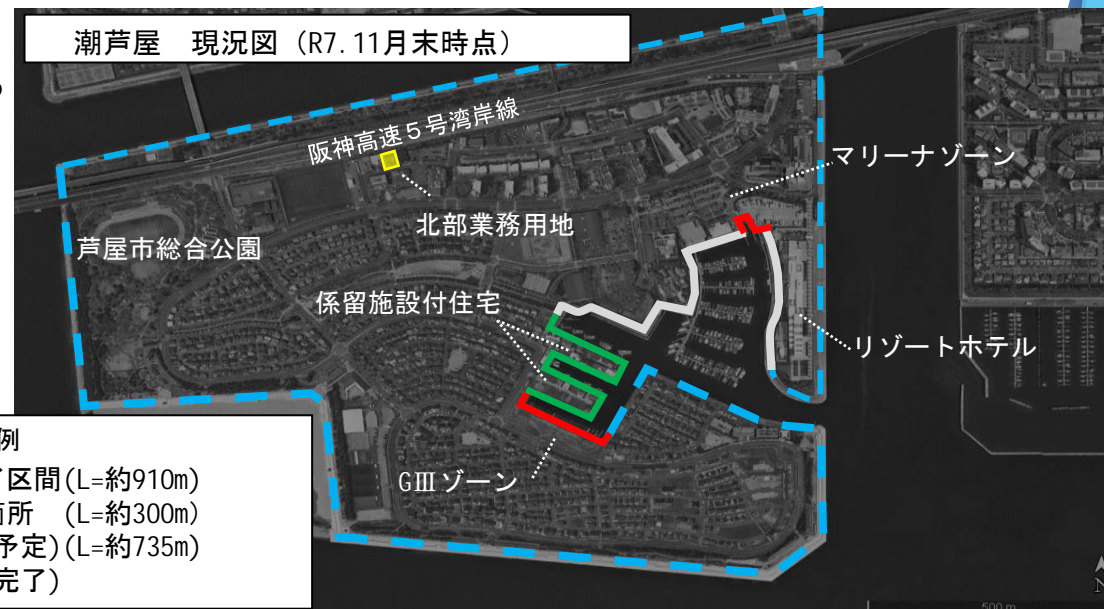


(2) 災害に強いまちづくりの推進

平成30年台風第21号による高潮被害に対する土木部管理護岸の対策に合わせ、企業庁管理の護岸嵩上げ工事等の防災対策を推進

【令和8年度取組予定】

- ・ マリーナ護岸嵩上げ工事



凡 例	
—	: 高潮対策工事完了区間 (L=約910m)
—	: R7年度工事実施箇所 (L=約300m)
—	: R8年度工事着手(予定) (L=約735m)
—	: 土木部管理護岸(完了)

II 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

3 神戸三田国際公園都市（カルチャータウン・フラワータウン）

14

(1) 住宅用地の分譲推進（現況図参照）

緑豊かな街並み、住環境に応じた各種インセンティブの活用や住宅メーカーとの連携強化、民間住宅情報サイトへの掲載などにより分譲を推進

【分譲状況】（ワシントン村）

都市近郊の自然豊かな住環境の良さが改めて注目され分譲が好調

令和5年度 11区画分譲
 令和6年度 7区画分譲
 令和7年度 5区画分譲
 7区画分譲中（うち2区画申込済）

【分譲状況】

（R7.11月末時点）

用 途	分 譲 計 画 (ha)	分 譲 の 状 況	
		累 計 (ha)	分 譲 済 率
住 宅	31	30	97%
業 務	63	62	98%
合 計	94	92	98%

【企業庁独自のインセンティブ】

制 度 名	内 容	助成上限額等
若年世帯新居購入支援 ※他制度との併用不可	A 結婚後10年以内又は中学校入学前の子を扶養 I 婚約中で土地所有権移転日までに結婚予定	分譲価格から 400万円割引
太陽光発電システム整備助成 ※ガーデニング等整備助成又は安全で快適な家づくり助成との併用可	太陽光発電システムの整備工事費用助成	150万円
ガーデニング等整備助成 ※他制度との併用不可（太陽光発電システム整備助成除く）	ガーデニング、菜園の整備費用助成	100万円
安全で快適な家づくり助成 ※他制度との併用不可（太陽光発電システム整備助成除く）	フラット35Sの技術基準適合住宅(ZEH住宅含む)等の建築費用助成	100万円

II 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

3 神戸三田国際公園都市（カルチャータウン・フラワータウン）

(2) カルチャータウン地区センター商業施設の事業展開

- ・令和5年 9月 物販エリアを拡張・リニューアルオープンし、地域の生活利便性の向上
- ・令和6年 11月 「Sanda Coffee Fest.2024」を開催
- ・令和7年 3月 レストラン「NORTHERN EIGHT COFFEE カルチャータウン店」オープン
- ・令和7年 5月 「三田オープンガーデン&ファーマーズマーケット」を開催
- ・令和7年 11月 「Sanda Coffee Fest.2025」を開催



【レストラン NORTHERN EIGHT COFFEE】



【Sanda Coffee Fest.2025】

(3) 県、三田市、関西学院大学での連携協力に基づく取組

- ・カルチャータウン地区の活性化または交流の拡大
- ・産学官民の連携促進、起業家支援
- ・若年層の定住促進、地域に貢献する人材育成
- ・ニュータウンの都市再生
- ・関西学院大学による複合施設の開設

(4) フラワータウン業務用地の分譲推進

現在、駐車場施設として貸付を行っている西近隣センター南ブロック用地（約0.05ha）について、一般競争入札により事業者を決定

【令和7年度取組】

- ・入札公告中

II 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

3 神戸三田国際公園都市（カルチャータウン・フラワータウン）

(5) フラワータウンセンター地区における公民連携に関する覚書に基づく取組

県、三田市、(株)北摂コミュニティ開発センターとの間で「北摂三田フラワータウンセンター地区における公民連携に関する覚書」締結

① 協力事項

- ア まちの再生、活性化または交流の拡大に関する事項
- イ 若年層・子育て層の定住促進に関する事項
- ウ まちづくり人材の育成に関する事項
- エ センター地区の土地利用活用に関する事項
- オ その他三者がまちづくりに必要と認める事項

② 企業庁関連事業

人と自然の博物館に隣接する企業庁保有のセンター地区用地（約1ha）について、まちの再生・活性化、若年層・子育て層の定住促進等につながるよう、三田市が策定したフラワータウン再生ビジョンを推進するため、令和8年まで暫定的に(株)北摂コミュニティ開発センターに当該用地を貸し付け、「エキマエアキチ」と名付けて、令和6年11月から社会実験等を実施。
その成果を踏まえて、将来的な活用方策、分譲方針について検討。

③ 施設の概要・活用内容

- ・ センター施設「EKIMAE Base」：多世代を対象とした生涯学習の場（ダンス・英会話・空手等）
- ・ スポーツひろば：こどもや若者が気軽に利用できるスポーツの場（バスケット・BMX・ランバイク等）
- ・ 芝生ひろば：誰もが日常的に立ち寄り交流ができる場（マルシェ・フリーマーケット等）
- ・ 時間貸駐車場：一部をキッチンカー駐車場としても利用



【エキマエアキチ：EKIMAE Base】



【エキマエアキチ：スポーツひろば】



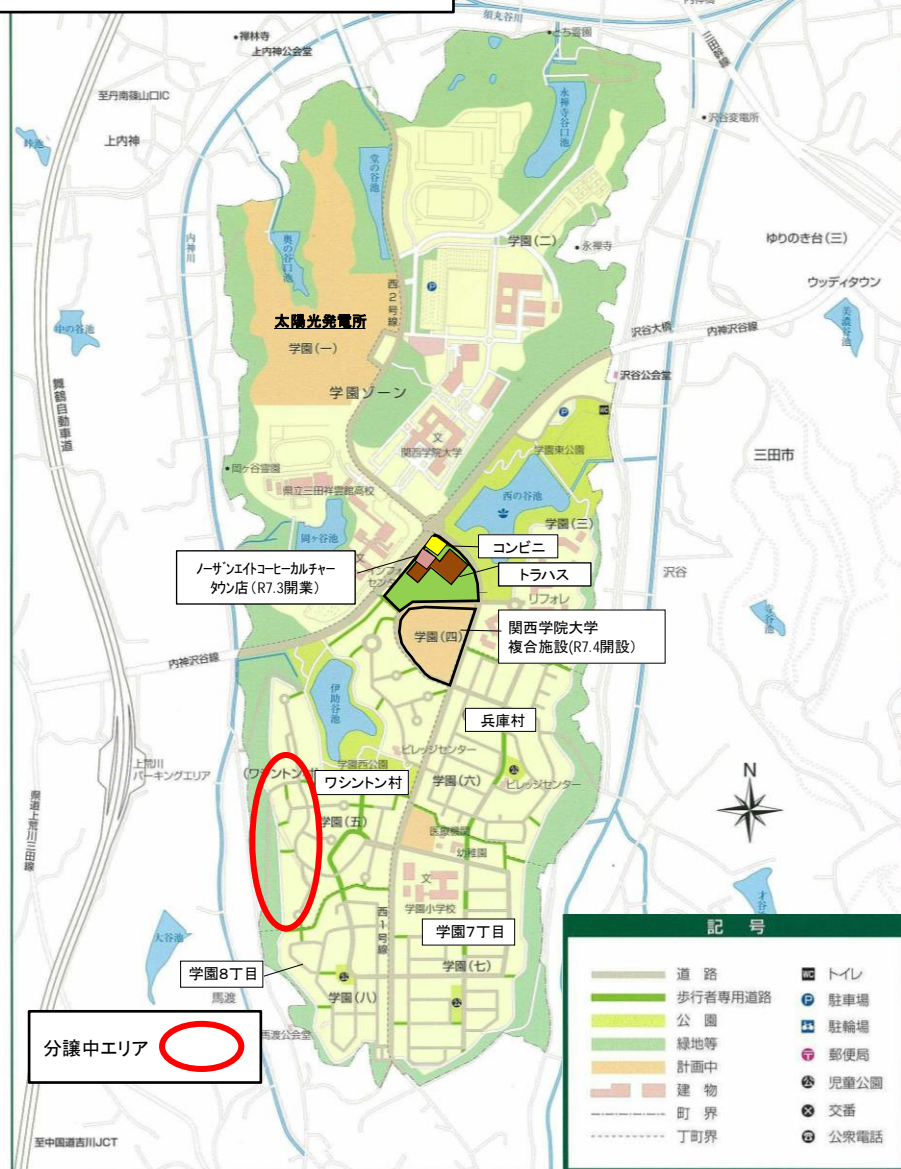
【フラワータウンフェスタ2025（11月3日）】

Ⅱ 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

3 神戸三田国際公園都市（カルチャータウン・フラワータウン）

17

神戸三田国際公園都市
カルチャータウン現況図
(R7.11月末時点)



神戸三田国際公園都市
フラワータウン現況図
(R7.11月末時点)



II 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

18

4 淡路津名地区

(1) 産業用地の分譲推進（現況図参照）

【分譲状況】

(R7.11月末時点)

① 地域特性を生かした企業誘致活動の展開

(主な地域特性)

- ア あわじ環境未来島構想の推進
- イ 公共岸壁を備えた大規模用地
- ウ 高速通信ネットワーク基盤(ひょうご情報ハイウェイ)の無償利用が可能

用 途	分 譲 計 画 (ha)	分 譲 の 状 況	
		累 計 (ha)	分 譲 済 率
産 業	146	128	88%
業 務	5	5	100%
合 計	151	133	88%

② インセンティブの活用

あわじ環境未来島構想や企業ニーズ等に応じた企業誘致を図るため、各種インセンティブ制度の活用を通じて分譲を推進

③ 民間活力等の積極的活用

産業立地支援のワンストップ窓口である「ひょうご・神戸投資サポートセンター」や「企業誘致サポーター」(立地情報を有する法人を登録し、情報の提供を受け、立地決定時に報酬を支給)との連携により分譲を推進

【企業庁独自のインセンティブ】

地区別	区分	制 度 名	内 容
共 通	割引	地域創生割引	県外から本社機能に移転する企業等に土地分譲価格を20%割引
	補助	地質等調査費助成	立地検討企業等のボーリング調査費用を助成 [最大500万円]
淡路津名地区	割引	あわじ環境未来島構想支援割引	省エネ、地域ブランド発展、生活向上関連企業等に土地分譲価格を20%割引(割引併用は10%)
	補助	淡路津名地区公共岸壁等使用料助成	津名港岸壁及び埠頭の使用料の1/2を助成 [最大1,000万円、立地後10年間]

【分譲状況】

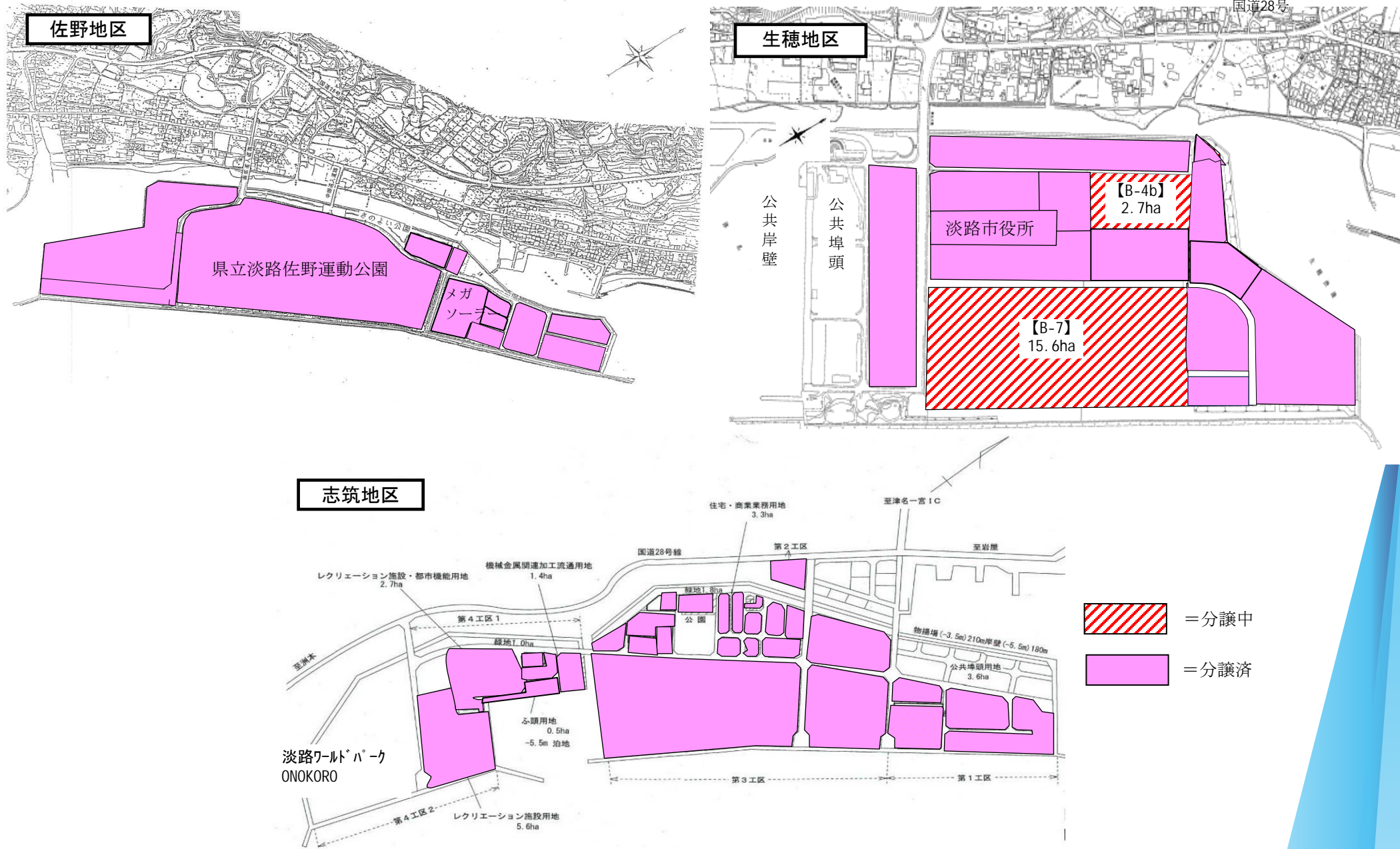
令和7年度 残り2区画分譲中

II 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

4 淡路津名地区

19

淡路津名地区 現況図（R7.11月末時点）



II 産業用地、業務用地、住宅用地の分譲推進

5 ひょうご情報公園都市第2期（地域創生整備事業会計）

ひょうご情報公園都市の未開発区域内で、三木市と共同で新たな産業団地化の推進

- ・全体開発面積 約100ha
- ・令和3年度 三木市と基本合意書締結（令和3年5月）
- ・令和3～4年度 基本設計
- ・令和5年度 企業等へのサウンディング調査
- ・令和6年度 県政改革方針に公民連携（県・市・民間）による産業団地化を位置付け
公民連携の方策で検討することについて、三木市と基本合意書締結（令和7年3月）
- ・令和7年度 県・三木市の役割分担について、三木市と実施協定を締結予定
公民連携による事業化の検討を進め、民間開発事業者の選定スキームを決定

【令和8年度取組予定】

- ・民間開発事業者の選定
- ・環境監視調査



Ⅲ 安全・安心な水道・工水の安定的供給

1 水道用水供給事業

(1) 事業概要

一庫、吞吐、大川瀬、川代、青野、神谷及び黒川の7ダムを水源とし、多田、神出、三田、中西条、船津の5浄水場から22市町1企業団（25市町）の受水団体に水道用水の供給を行い、各家庭への供給は各市町等水道事業が行っている。

計画給水量 (R8年度) ($\text{m}^3/\text{日}$)	申込予定水量 (R8年度)		平均供給 単価	給水開始年
	($\text{m}^3/\text{日}$)	($\text{m}^3/\text{年}$)		
480,400	428,140	10,939万	118円/ m^3	S54年～



【多田浄水場】

(2) 水道料金（適用期間：令和6～9年度）

① 基本的な考え方（健全経営の維持）

給水量の維持・増量、減価償却費及び企業債利息の減並びに電気代等のランニングコストの増嵩を踏まえ、次期料金算定期間中の総括原価を回収。併せて、将来の県営水道施設の計画的な更新・耐震化に必要な財源を確保

② 料金体系（二部料金制）

現行料金は旧料金から平均供給単価で2円引き下げ、118円/ m^3 としている。

【平均供給単価の推移（二部料金制導入後）】

年度	H12～19	H20～22	H23～27	H28～R1	R2～R5	R6～
単価(m^3)	155円	152円	132円	127円	120円	118円

III 安全・安心な水道・工水の安定的供給

1 水道用水供給事業

22

【参考】 県水申込水量・県水依存率一覧

受水団体名	令和8年度			(参考) 県水依存率 (R5実績)		受水団体名	令和8年度			(参考) 県水依存率 (R5実績)
	計画給水量 m ³ /日	申込予定水量 m ³ /日	受水率				計画給水量 m ³ /日	申込予定水量 m ³ /日	受水率	
神戸市	28,360	28,360	100.0%	3.8%		播磨町	2,010	1,800	89.6%	12.1%
尼崎市	4,280	1,400	32.7%	0.7%		西脇市	7,600	6,000	78.9%	37.1%
西宮市	18,530	17,140	92.5%	8.3%		三木市	20,200	17,600	87.1%	45.3%
伊丹市	14,870	4,800	32.3%	5.0%		小野市	13,670	9,900	72.4%	36.2%
宝塚市	25,550	25,550	100.0%	25.7%		加西市	15,600	15,600	100.0%	81.9%
川西市	35,270	35,270	100.0%	61.7%		加東市	11,700	11,700	100.0%	56.5%
三田市	37,670	37,670	100.0%	82.8%		姫路市	84,900	77,750	91.6%	33.0%
猪名川町	12,200	10,600	86.9%	90.6%		福崎町	2,740	800	29.2%	8.4%
明石市	47,650	47,650	100.0%	31.1%		太子町	2,930	2,000	68.3%	14.0%
加古川市	41,900	41,900	100.0%	40.2%		丹波篠山市	10,700	10,700	100.0%	55.8%
高砂市	12,910	5,000	38.7%	10.6%		淡路広域水道企業団	27,180	17,650	64.9%	25.3%
稲美町	1,980	1,300	65.7%	10.7%		合 計	480,400	428,140	89.1%	19.3%

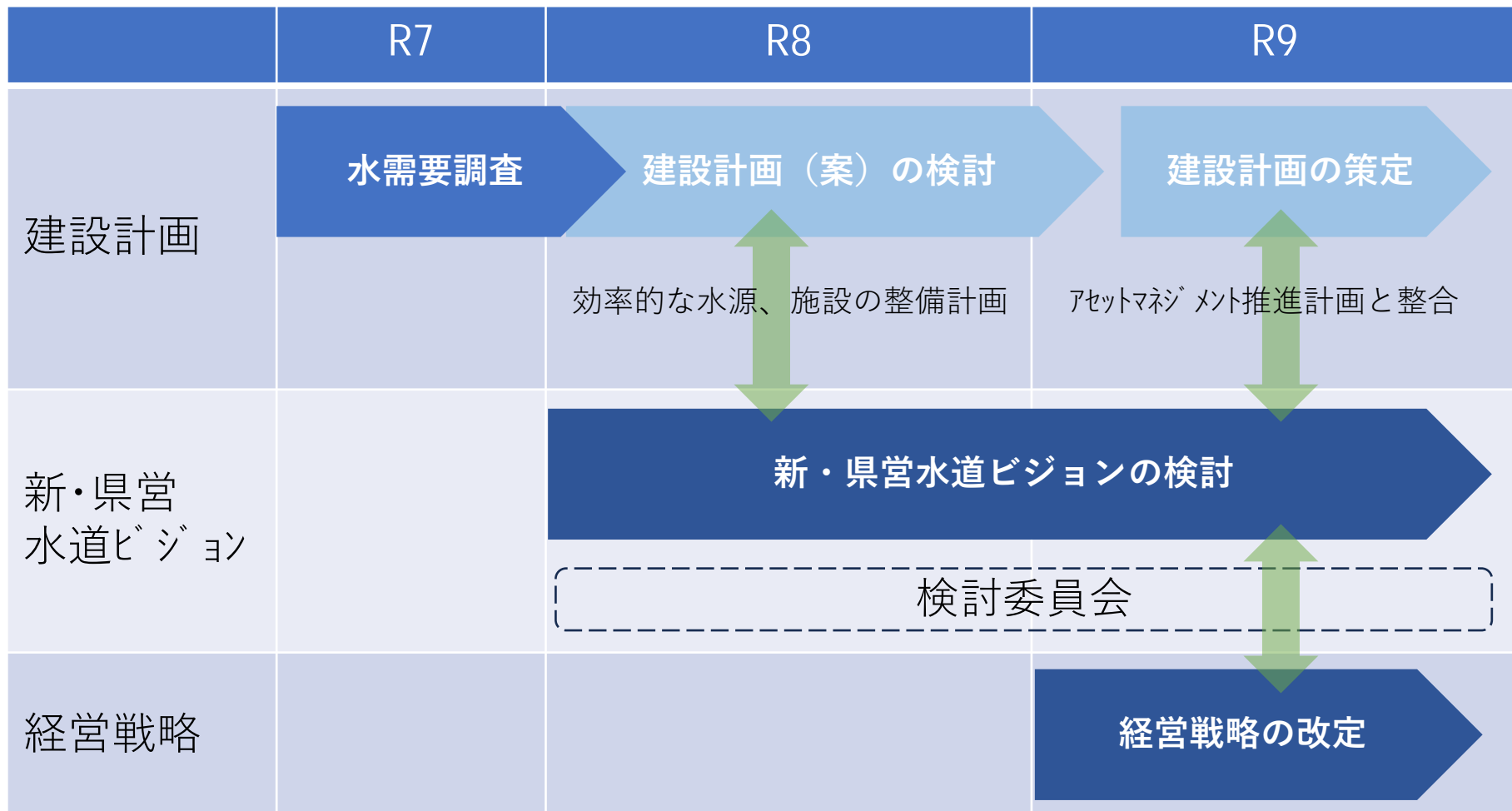
Ⅲ 安全・安心な水道・工水の安定的供給

1 水道用水供給事業

(3) 新・県営水道ビジョンの策定

将来の人口減少・水需要減少が見込まれる一方で、各受水団体が保有する施設の老朽化や自己水源の水質悪化などから県営水道の増量を選択する傾向が顕在化している。今年度実施している水需要調査結果を踏まえ、効率的な水道システムを構築するとともに将来的な安定供給を確保するため、新・県営水道ビジョンを策定する。

【参考】主なスケジュール



III 安全・安心な水道・工水の安定的供給

1 水道用水供給事業

(4) 水道施設の健全維持

「アセットマネジメント推進計画」（平成20年度策定、平成29年度改定）に基づき、定期的な施設の点検・診断及び健全性評価等を実施し、修繕工事や長寿命化工事の実施により更新時期の平準化を図るなど、適正な施設の管理運営を推進

【アセットマネジメント推進計画の概要】

計画期間	2009(H21)年度～2048(R30)年度	
計画内容	① 施設を「管路施設」「電気設備」「機械設備」「土木施設」「建築施設」の5つに区分 ② 施設の劣化度の評価、重要度や既往の知見等に基づく使用目標年数の設定 ③ 施設を延命させライフサイクルコストを最小とする補修・更新方法と費用 ④ 事業収支を考慮した更新時期の平準化 ⑤ 計画の継続的な推進とフォローアップ	
対象施設	管路施設	延長：約260km 口径：φ150～φ2,000mm
	電気・機械設備	受変電設備、監視制御設備、ポンプ設備、薬品注入設備等
	土木・建築施設	沈砂池、浄水池、管理本館等
対象施設の 使用 目標年数	管路施設	ダクタイル管 60年～100年、 鋼管 70年
	電気・機械設備	電気設備 9年～43年、 機械設備 15年～40年
	土木・建築施設	土木施設 70年～100年、 建築施設 60年～80年
費用総額	40年間で約2,000億円	

Ⅲ 安全・安心な水道・工水の安定的供給

1 水道用水供給事業

(5) 水道施設の強靱化対策

① 水道施設の老朽化対策

水道施設の老朽化に伴い、機器の故障リスクや管路の漏水リスクが高まっている。適切な老朽化対策により水道施設を健全な状態に維持し、安定的な給水を目指す。

【令和8年度取組予定】

- ・ 多田浄水場 猪名川幹線管路更新工事
- ・ 三田浄水場 中央監視制御設備更新工事
- ・ 神出浄水場 1系ろ過池設備更新工事
- ・ 船津浄水場 ドライ炭注入設備工事 等

② 管路施設の耐震化

管路施設の老朽化対策に併せて耐震管への更新を進め、耐震化率の向上を図る。

【令和8年度取組予定】

- ・ 多田浄水場 猪名川幹線管路更新工事 等

③ 緊急時のバックアップ施設の整備（連絡管の整備）

渇水時や地震・事故時の断水リスクに備え、浄水場間等の連絡管（バックアップ）整備について、他の管路強靱化対策とともに着手時期、実施方法の検討を進める。



【三田浄水場 中央監視制御設備更新工事】



【船津浄水場 ドライ炭注入設備工事】

III 安全・安心な水道・工水の安定的供給

2 工業用水道事業

(1) 事業概要

揖保川、市川、加古川を水源とする揖保川第1工業用水道、揖保川第2工業用水道、市川工業用水道及び加古川工業用水道により、姫路市、加古川市、明石市、高砂市、播磨町及び太子町にまたがる播磨工業地帯に工業用水を供給

(R7. 11月末現在)

事業名	契約水量 (m ³ /日)	給水料金 (円/m ³)	給水事業所 〔給水区域〕	給水開始
揖保川第1	257,880	4.30	3事業所 〔姫路市〕	S13～
揖保川第2	75,800	14.30	16事業所 〔姫路市、太子町〕	S46～
市川	140,000	15.00	20事業所 〔姫路市〕	S39～
加古川	198,840	25.00	64事業所 〔加古川市、明石市、高砂市、播磨町〕	S41～
合 計	672,520	13.51	103事業所 〔6市町〕	—

III 安全・安心な水道・工水の安定的供給

2 工業用水道事業

(2) 工水施設の健全維持

「アセットマネジメント推進計画」（平成20年度策定、平成30年度改定）に基づき、定期的な施設の点検・診断及び健全性評価等を実施し、修繕工事や長寿命化工事の実施により更新時期の平準化を図るなど、適正な施設の管理運営を推進

今後、老朽化の進行により、施設の更新・修繕費用が増大し、経営への影響が懸念される。令和11年度以降の大規模更新工事着手までに、新たな技術・工法の採用や施設のダウンサイジング等も含めて、アセットマネジメント推進計画の総合的な見直しを実施し、経営の健全性を維持

【アセットマネジメント推進計画の概要】

計 画 期 間	2009(H21)年度～2048(R30)年度		
計 画 内 容	① 施設を「管路施設」「電気設備」「機械設備」「土木施設」「建築施設」の5つに区分 ② 施設の劣化度の評価、重要度や既往の知見等に基づく使用目標年数の設定 ③ 施設を延命させライフサイクルコストを最小とする補修・更新方法と費用 ④ 事業収支を考慮した更新時期の平準化 ⑤ 計画の継続的な推進とフォローアップ		
対 象 施 設	管路施設	延長：約150km 口径：φ75～φ2,000mm	
	電気・機械設備	受変電設備、監視制御設備、ポンプ設備等	
	土木・建築施設	沈砂池、管理本館等	
対 象 施 設 の 使 用 目 標 年 数	管路施設	ダクタイル管 60年～100年、 鋼管 70年	
	電気・機械設備	電気設備 9年～43年、 機械設備 15年～40年	
	土木・建築施設	土木施設 70年～100年、 建築施設 60年～80年	
費 用 総 額	40年間で約900億円		

【令和8年度取組予定】

- ・揖保川第2工業用水道 監視制御設備更新工事 一式
- ・加古川工業用水道 播磨中継加圧ポンプ場電気設備更新工事 一式 等

IV 地域活力を創造する取組

28

1 淡路夢舞台

土砂採取跡地に自然環境の回復と緑豊かな景観を創造するとともに、人と自然と文化が交流する「淡路島国際公園都市」の中核施設として整備

(株)夢舞台による、ホテル、国際会議場、温室等の施設群の一体的管理運営により、北淡路地域の振興を推進

【夢舞台主要施設の概要】

施 設 名 称	施設所管部局	運営方法	管理運営者
グランドニッコー淡路	企 業 庁	貸 付	(株)夢舞台
展望テラス内レストラン			
国際会議場	産業労働部	指定管理	
百段苑、展望テラス、灘山緑地	まちづくり部	指定管理	
温室（あわじグリーン館）			
ハイウェイオアシス			
交流の翼港	土 木 部	指定管理	

(1) 今後の展開

令和7年3月に「県政改革の基本方針」を策定後、「淡路夢舞台の創造的再生」に向けた今後のあり方の検討を進め、昨年9月には中間報告として「基本的な考え方（案）」を公表

その後、関係者等の意見も踏まえながらさらに議論を深め、12月に最終報告として「淡路夢舞台 創造的再生の基本方針」を公表

今後、「創造的再生の基本方針」を基に、ホテル等の企業庁保有資産の民間譲渡に向けた取組を推進

【想定スケジュール】

- ・ 令和7年度 ホテル等の譲渡・運営事業者の公募開始
- ・ 令和8年度 ホテル等の譲渡・運営事業者の選定
- ・ 令和9年度以降 新運営体制による再生事業のスタート

2 青野運動公苑

県民のスポーツニーズに応え、北播磨の地域振興に寄与するため、ゴルフコース、テニスコート、スポーツホテル、グラウンド・ゴルフ場を有する青野運動公苑を運営してきたが、令和7年11月末に知事部局との無償貸付契約、現行運営者との管理運営契約の契約期間が満了を迎えることから、民間売却に向け事業者の公募を実施。現行運営者であるニホンターフメンテナンス(株)を事業予定者に決定し、12月1日に施設の引渡が完了

IV 地域活力を創造する取組

3 再生可能エネルギーへの取組

(1) メガソーラープロジェクト

再生可能エネルギー拡大への貢献、保有資産の有効活用のため、大型太陽光発電施設全12箇所を運営

【太陽光発電導入状況】

地 区	設置面積	発電出力	発電開始	R 8 売電収益見込
①網干沖地区	1.5ha	1,180kW	H25.11～	59百万円
②三田カルチャータウン	8.6ha	6,530kW	H26.3～	304百万円
③養老ポンプ場	0.8ha	550kW	H26.6～	25百万円
④権現ダム堤体法面	1.9ha	1,760kW	H26.11～	86百万円
⑤神谷ダム土取場	1.7ha	1,780kW	H26.11～	79百万円
⑥中西条地区	1.7ha	1,590kW	H26.11～	70百万円
⑦播磨科学公園都市(住宅用地)	6.0ha	5,000kW	H26.12～	207百万円
⑧佐野地区	2.5ha	2,000kW	H27.1～	99百万円
⑨播磨科学公園都市(産業用地)	2.2ha	2,000kW	H27.2～	87百万円
⑩播磨科学公園都市(都市運営用地)	0.7ha	610kW	H27.2～	23百万円
⑪神谷ダム堤体法面	3.2ha	4,990kW	H28.2～	230百万円
⑫平荘ダム堤体法面	1.6ha	1,610kW	H28.2～	76百万円
計	32.4ha	29,600kW		1,345百万円



【権現ダム堤体法面】



【三田カルチャータウン】

IV 地域活力を創造する取組

30

<TOPICS> メガソーラープロジェクト事業用地等の利活用検討のためのサウンディング型市場調査の実施

再生可能エネルギーの普及拡大と保有資産の暫定的な有効活用のため、現在12か所で、FIT制度を活用して、大型太陽光発電施設を運営（H25～）。このうち、地域整備事業会計にて保有する5資産（R15から順次FIT適用終了）について、今後の利活用方策を検討するため、サウンディング型市場調査を実施。

【今後のスケジュール】

- ・ R8.1 ～ 個別対話
- ・ R8.3 結果公表

【太陽光発電導入状況】 ：サウンディング型市場調査の対象

地 区	設置面積	発電出力	発電開始
①網干沖地区	1.5ha	1,180kW	H25.11～
②三田カルチャータウン	8.6ha	6,530kW	H26.3～
③養老ポンプ場	0.8ha	550kW	H26.6～
④権現ダム堤体法面	1.9ha	1,760kW	H26.11～
⑤神谷ダム土取場	1.7ha	1,780kW	H26.11～
⑥中西条地区	1.7ha	1,590kW	H26.11～
⑦播磨科学公園都市(住宅用地)	6.0ha	5,000kW	H26.12～
⑧佐野地区	2.5ha	2,000kW	H27.1～
⑨播磨科学公園都市(産業用地)	2.2ha	2,000kW	H27.2～
⑩播磨科学公園都市(都市運営用地)	0.7ha	610kW	H27.2～
⑪神谷ダム堤体法面	3.2ha	4,990kW	H28.2～
⑫平荘ダム堤体法面	1.6ha	1,610kW	H28.2～
計	32.4ha	29,600kW	



⑦【播磨科学公園都市】



⑧【佐野地区】

※上記赤枠以外は水道用水供給事業会計等の保有資産

IV 地域活力を創造する取組

3 再生可能エネルギーへの取組

(2) 小水力発電の推進

再生可能エネルギー拡大に貢献するため、既存ダムの高低差を有効活用した小水力発電施設全 5 箇所を運営

【企業庁関係の発電所】

施設名称	発電出力	稼働年次	備考
①神谷ダム小水力	393kW	R2.4～	企業庁単独施設、自家消費
②一庫ダム小水力	1,900kW	S58～	水資源機構との共同施設、自家消費及び余剰分売電
③吞吐ダム小水力	275kW	H28.4～	農林水産省との共同施設、全量売電
④大川瀬ダム小水力	199kW	H28.4～	農林水産省との共同施設、全量売電
⑤生野ダム小水力	497kW	H30.4～	県土木部との共同施設、自家消費及び余剰分売電
計	3,264kW		

V 令和 8 年度 予算要求額 一覧表

(単位：千円)

事業名	令和 7 年度 当初予算額	予算区分	令和 8 年度 予算要求額	財 源 内 訳			備 考
				国庫支出金	特 定 財 源	起 債	
兵庫県水道用水 供給事業	21,984,699	収益の支出	15,683,755	0	15,683,755	0	
		資本の支出	6,073,129	0	6,073,129	0	
		計	21,756,884	0	21,756,884	0	
兵庫県工業用水道 事業	6,002,522	収益の支出	3,621,137	0	3,621,137	0	
		資本の支出	2,478,134	0	2,478,134	0	
		計	6,099,271	0	6,099,271	0	
兵庫県水源開発 事業	88,913	収益の支出	—	—	—	—	
		資本の支出	92,738	0	92,738	0	
		計	92,738	0	92,738	0	
兵庫県地域整備 事業	17,586,082	収益の支出	10,080,947	0	10,080,947	0	
		資本の支出	20,045,444	0	20,045,444	0	
		計	30,126,391	0	30,126,391	0	
兵庫県企業資産 運用事業	1,471,983	収益の支出	1,473,304	0	1,473,304	0	
		資本の支出	107,326	0	107,326	0	
		計	1,580,630	0	1,580,630	0	
兵庫県地域創生 整備事業	498,415	収益の支出	351,283	0	351,283	0	
		資本の支出	285,617	0	285,617	0	
		計	636,900	0	636,900	0	
合 計	47,632,614	収益の支出	31,210,426	0	31,210,426	0	
		資本の支出	29,082,388	0	29,082,388	0	
		計	60,292,814	0	60,292,814	0	

令和8年度兵庫県水道用水供給事業会計予算原案

(収益的收入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和8年度予算予定額	概 要 説 明
(款)水道用水供給事業収益	15,787,810	16,033,427	I 業務の予定量 1 給水団体数 22 市町・1 企業団 2 年間給水量 109,390 千m ³ 3 1日平均給水量 300 千m ³ II 予算の主なもの 〔収 入〕 1 営業収益 水道用水供給収益 14,178,200 2 営業外収益 長期前受金戻入 1,197,656 受取利息 256,572 〔支 出〕 1 営業費用 減価償却費 5,862,248 修繕費 2,520,640 委託料 2,039,375 薬品費 1,273,853 2 営業外費用 企業債利息 165,000 消費税等 408,525
(項)営業収益	14,603,673	14,579,060	
営業外収益	1,184,127	1,454,357	
特別利益	10	10	
(款)水道用水供給事業費用	15,436,162	15,683,755	
(項)営業費用	14,761,113	15,060,220	
営業外費用	625,039	573,525	
特別損失	10	10	
予備費	50,000	50,000	
差 引	(136,854) 351,648	(160,247) 349,672	

()は税抜予定損益額を記載した。

(資本的收入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和8年度予算予定額	概 要 説 明
(款)資本的收入	1,000,020	1,000,020	I 業務の予定量 1 施設改良工事 3,211,073 II 予算の主なもの 〔収 入〕 1 投資及び出資金返還金 県道路公社債 1,000,000 〔支 出〕 1 建設改良費 (施設改良費) 多田 猪名川幹線管路更新工事 120,000 三田 中央監視制御設備更新工事 110,000 神出 1系ろ過池設備更新工事 570,000 船津 ドライ炭注入設備工事 1,189,656 2 企業債償還金 1,755,204 3 投資及び出資金 県道路公社債 1,000,000
(項)投資及び出資金返還金	1,000,000	1,000,000	
固定資産売却代金	10	10	
諸収入	10	10	
(款)資本的支出	6,548,537	6,073,129	
(項)建設改良費	3,546,995	3,267,925	
企業債償還金	1,924,100	1,755,204	
国庫補助金返還金	27,442	0	
投資及び出資金	1,000,000	1,000,000	
予備費	50,000	50,000	
差 引	△ 5,548,517	△ 5,073,109	

資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金等で補填する。

合 計	△ 5,196,869	△ 4,723,437	
-----	-------------	-------------	--

令和８年度兵庫県工業用水道事業会計予算原案

(収益的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和8年度予算予定額	概 要 説 明
(款)工業用水道事業収益	4,271,993	4,382,128	I 業務の予定量
(項)営業収益	3,808,782	3,812,503	1 給水事業所数 104事業所
営業外収益	463,201	569,615	2 年間総給水量 251,056千m ³
特別利益	10	10	3 一日平均給水量 688千m ³
(款)工業用水道事業費用	3,505,044	3,621,137	II 予算の主なもの
(項)営業費用	3,284,059	3,405,089	[収 入]
営業外費用	200,955	196,018	1 営業収益
特別損失	30	30	給水収益 3,745,957
予備費	20,000	20,000	2 営業外収益
差 引	(740,049)	(722,297)	長期前受金戻入 457,877
	766,949	760,991	受取利息 111,718
			[支 出]
			1 営業費用
			減価償却費 1,679,317
			委託料 436,357
			動力費 242,100
			修繕費 240,727
			2 営業外費用
			企業債利息 9,129
			消費税等 186,889

()は税抜予定損益額を記載した。

(資本的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和8年度予算予定額	概 要 説 明
(款)資本的収入	1,000,020	1,000,020	I 業務の予定量
(項)投資及び出資金返還金	1,000,000	1,000,000	1 施設改良工事 463,574
諸収入	10	10	II 予算の主なもの
固定資産売却代金	10	10	[収 入]
(款)資本的支出	2,497,478	2,478,134	1 投資及び出資金返還金
(項)建設改良費	459,215	464,081	県道路公社債 1,000,000
企業債償還金	822,961	798,751	[支 出]
投資及び出資金	1,000,000	1,000,000	1 建設改良費
他会計からの長期借入金償還金	205,302	205,302	監視制御設備更新工事(揖保2) 270,000
予備費	10,000	10,000	播磨中継加圧ポンプ場
差 引	△ 1,497,458	△ 1,478,114	電気設備更新工事(加古川) 65,000
			2 企業債償還金 798,751
			3 投資及び出資金
			県道路公社債 1,000,000
			4 他会計からの長期借入金償還金
			資産会計からの借入金の償還 205,302

資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金等で補填する。

合 計	△ 730,509	△ 717,123	
-----	-----------	-----------	--

令和8年度兵庫県水源開発事業会計予算原案

(資本的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和8年度予算予定額	概 要 説 明
(款)資本的収入	88,913	92,738	I 業務の予定量 西脇地域水源開発事業費 92,738 II 予算の主なもの [収 入] 1 一般会計補助金 92,738 [支 出] 1 建設改良費 糺屋ダム管理費 92,738
(項)一般会計補助金	88,913	92,738	
(款)資本的支出	88,913	92,738	
(項)建設改良費	88,913	92,738	
差 引	0	0	

令和8年度兵庫県地域整備事業会計予算原案

(収益的收入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和8年度予算予定額	概 要 説 明
(款)地域整備事業収益	2,101,649	10,054,231	I 業務の予定量
(項)営業収益	1,956,728	9,907,338	土地売却面積 50.5ha
営業外収益	144,911	146,883	・阪神地域 0.7ha
特別利益	10	10	・播磨地域 47.2ha
			・淡路地域 2.6ha
(款)地域整備事業費用	2,290,842	10,080,947	II 予算の主なもの
(項)営業費用	2,226,429	10,030,827	[収 入]
営業外費用	110	110	1 営業収益
特別損失	14,303	10	土地売却収益 8,723,739
予備費	50,000	50,000	2 営業外収益
			受取利息 95,549
			[支 出]
			1 営業費用
			土地売却原価 8,497,940
			淡路夢舞台事業者公募等支援 57,570
差 引	(△ 196,621) △ 189,193	(△ 30,677) △ 26,716	

()は税抜予定損益額を記載した。

(資本的收入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和8年度予算予定額	概 要 説 明
(款)資本的收入	9,134,527	8,223,698	I 業務の予定量
(項)企業債	9,100,000	8,194,700	1 阪神地域整備事業 261,150
固定資産売却代金	10	10	2 播磨地域整備事業 941,015
諸収入	34,517	28,988	3 淡路地域整備事業 237,797
(款)資本的支出	15,295,240	20,045,444	II 予算の主なもの
(項)地域整備費	2,447,240	2,312,744	[支 出]
企業債償還金	12,798,000	17,682,700	1 地域整備費
予備費	50,000	50,000	(阪神地域)
			潮芦屋マリーナ護岸嵩上げ工事 107,000
			(播磨地域)
			播磨科学公園都市上下水道負担金 420,326
			(淡路地域)
			淡路夢舞台ホテル修繕工事 198,197
差 引	△ 6,160,713	△ 11,821,746	2 企業債償還金 17,682,700

資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金等で補填する。

合 計	△ 6,349,906	△ 11,848,462	
-----	-------------	--------------	--

令和8年度兵庫県企業資産運用事業会計予算原案

(収益的收入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和8年度予算予定額	概 要 説 明
(款)資産運用事業収益	1,410,680	1,480,241	I 業務の予定量 年間販売電力量 33,119,292kWh II 予算の主なもの 〔収 入〕 1 営業収益 太陽光発電売電収益 1,344,946 2 営業外収益 受取利息 117,855 〔支 出〕 1 営業費用 太陽光発電施設維持管理 808,863 減価償却費 503,765 2 営業外費用 消費税等 97,889
(項)営業収益	1,349,789	1,344,946	
営業外収益	60,861	135,265	
特別利益	30	30	
(款)資産運用事業費用	1,383,637	1,473,304	
(項)営業費用	1,264,138	1,363,824	
営業外費用	109,469	99,450	
特別損失	30	30	
予備費	10,000	10,000	
差 引	(27,038) 27,043	(6,361) 6,937	

()は税抜予定損益額を記載した。

(資本的收入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和8年度予算予定額	概 要 説 明
(款)資本的收入	205,322	205,322	I 予算の主なもの 〔収 入〕 1 長期貸付金償還金 工水会計貸付金償還金 205,302 〔支 出〕 1 建設改良費 三田 監視用システム改修 6,345 2 投資及び出資金 解体等積立金 50,881
(項)長期貸付金償還金	205,302	205,302	
固定資産売却代金	10	10	
諸収入	10	10	
(款)資本的支出	88,346	107,326	
(項)建設改良費	59	6,445	
投資及び出資金	38,287	50,881	
予備費	50,000	50,000	
差 引	116,976	97,996	

合 計	144,019	104,933	
-----	---------	---------	--

令和8年度兵庫県地域創生整備事業会計予算原案

(収益的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和8年度予算予定額	概 要 説 明
(款) ひょうご小野産業団地整備事業収益	1,186	11,398	I 予算の主なもの 【ひょうご小野産業団地整備事業】 〔収 入〕 1 営業外収益 受取利息 11,388 〔支 出〕 1 営業外費用 支払利息 1,255 【神戸・鈴蘭台西健康福祉拠点整備事業】 〔収 入〕 1 営業収益 普通財産貸付料 696 〔支 出〕 1 営業費用 一般管理費 1,650 2 特別損失 固定資産売却損 298,338
(項)営業外収益 特別利益	1,176 10	11,388 10	
(款) 神戸・鈴蘭台西健康福祉拠点整備事業収益	716	716	
(項)営業収益 営業外収益 特別利益	696 10 10	696 10 10	
計	1,902	12,114	
(款) ひょうご小野産業団地整備事業費用	1,275	1,275	
(項)営業外費用 特別損失	1,265 10	1,265 10	
(款) 神戸・鈴蘭台西健康福祉拠点整備事業費用	124,985	300,008	
(項)営業費用 営業外費用 特別損失	675 10 124,300	1,650 10 298,348	
(款) 予備費	50,000	50,000	
(項)予備費	50,000	50,000	
計	176,260	351,283	
差 引	(△ 174,358) △ 174,358	(△ 339,169) △ 339,169	

()は税抜予定損益額を記載した。

(資本的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和7年度当初予算額	令和8年度予算予定額	概 要 説 明
(款) ひょうご小野産業団地整備事業資本的収入	500,000	0	I 予算の主なもの 【神戸・鈴蘭台西健康福祉拠点整備事業】 [収 入] 1 固定資産売却代金 固定資産売却代金 272,000 [支 出] 1 整備費 事業設備費 710 【ひょうご情報公園都市第2期整備事業】 [支 出] 1 整備費 環境監視調査等 123,259 総係費 111,638
(項) 投資及び出資金返還金	500,000	0	
(款) 神戸・鈴蘭台西健康福祉拠点整備事業資本的収入	446,048	272,000	
(項) 固定資産売却代金	446,048	272,000	
(款) 神戸・三宮東再整備事業資本的収入	10	10	
(項) 諸収入	10	10	
(款) ひょうご情報公園都市第2期整備事業資本的収入	10	10	
(項) 諸収入	10	10	
計	946,068	272,020	
(款) 神戸・鈴蘭台西健康福祉拠点整備事業資本的支出	0	710	
(項) 整備費	0	710	
(款) 神戸・三宮東再整備事業資本的支出	10	10	
(項) 整備費	10	10	
(款) ひょうご情報公園都市第2期整備事業資本的支出	272,145	234,897	
(項) 整備費	272,145	234,897	
(款) 予備費	50,000	50,000	
(項) 予備費	50,000	50,000	
計	322,155	285,617	
差 引	623,913	△ 13,597	
資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金等で補填する。			
合 計	449,555	△ 352,766	